

第6回仙台城跡調査・整備委員会

- I. 開催日時 令和3年8月19日(木)14時00分～16時00分
- II. 開催場所 市役所上杉分庁舎12階第1会議室
- III. 出席者 (委員) 藤澤 敦・北野 博司・籠橋 俊光・佐浦 みどり
深澤 百合子・渋谷セツコ・佐々木 貴弘・永井 康雄
奥村 聡子(欠席)
- (宮城県) 佐藤 憲幸(教育庁文化財課 技術補佐)
- (事務局) 【教育局】
- | | |
|----------|--------|
| 生涯学習部長 | 筒井 幸子 |
| 文化財課長 | 都丸 晃彦 |
| 文化財課調整担当 | 長島 栄一 |
| 仙台城史跡調査室 | |
| 主任 | 大江 美智代 |
| 主任 | 沼倉 幸司 |
| 主事 | 須貝 慎吾 |
| 主事 | 佐藤 恒介 |
| 主事 | 吉田 大 |
- 【建設局公園課】
- | | |
|-----------|------|
| 青葉山公園整備室長 | 川崎 剛 |
|-----------|------|
- 【文化観光局観光課】
- | | |
|------------|-------|
| 観光課賑わい創出係長 | 横山 弘達 |
|------------|-------|
- (報道機関) (3社)
- IV. 傍聴人 1名

※会議録の署名について委員長は佐々木委員を指名

1 開会

2 議事

(1)令和3年度の調査成果について

【資料1】に基づき事務局より説明

(北野副委員長) 広瀬川護岸石垣の資料では、石垣の裏込め石が急角度で切り込んでいるような図になっているが、この裏込め石をどこかで断ち割って調査したのか。

また、その背面で確認された石列および溝状遺構とその中のピットの時期について、資料では石列の上面が近代の整地層に切られるかたちで書かれている。近世の遺構であれば、このような石列は塀の基礎あるいは背面の何かと考えることもできるかどうか。

(事務局) 現状は上面で裏込め石の範囲を確認しているのみで、断面模式図の裏込め石の表現は想定で記載している。来年度斜面部の調査を予定している。

次に、溝状遺構と石列について、IV層は近世面と考えているが、出土した陶磁器数点についても未整理のため年代は不明である。石列に関しては、近代の整地層(II-2層)で切られているので、今のところ2面の近世面があると考えている。模式図では全てIV層上面に見えるが、石列は溝状遺構よりも古い遺構であると考えている。また、石列と溝状遺構、ピットについて塀跡の可能性が指摘されたが、石列とピット間が1.7mと離れており判断ができない状態である。

(北野副委員長) 模式図のピットは、図7でみられる2箇所の壁にかかる大きなピットのことを指しているのか、それとも細かい穴を指しているのか。

(事務局) 細かい穴を示している。

(北野副委員長) 2箇所の大きなピットはどういったものか。

(事務局) 近代の攪乱である。

(永井委員) 埋没堀の発掘調査でおおよその位置や構造がわかったとのことだが、将来的に復元されるのか。追廻の整備全体図をみると、駐車場になっているので将来のことについて教えてほしい。

(事務局) 青葉山公園整備の計画の中では、堀は復元する計画であると聞いている。駐車場に関しては、あくまでも仮設の駐車場であり、将来的には本格的な発掘調査等を実施する時期がくるものと考えている。

(永井委員) 後の資料に出てくる整備概要の図というのは、あくまで暫定的なものと考えてよいのか。

(事務局) そのようにご理解いただきたい。

(藤澤委員長) 護岸石垣は、公園整備が目的となっているが、護岸石垣近辺に何らかの構造物をつくる計画がされているのか。

(公園課) 今回の整備は崩落している石垣を復旧するまでの間、これ以上の浸食を防止するた

めの法面保護を暫定的に行ったうえで、親水空間の整備という観点から川辺に降りる階段の整備を考えている。

(藤澤委員長) あくまで遺構を保護したうえ整備し、今後の整備に向けた判断材料を得るといふことか。

(公園課) そのような解釈である。

(藤澤委員長) ここは史跡の範囲には入っていないが、広瀬川の護岸に近世の石垣が残っていることを市民によく伝わるかたちで整備を進めて頂きたい。

(永井委員) 追廻地区は史跡地外だが、仙台城全体を考える上で非常に重要なところである。史跡地と同等の感覚で考えてほしい。

(事務局) 石垣が崩落している斜面部の調査は来年度に計画している。それまでに調査について関係部局と十分に調整する。

(2)青葉山公園整備事業について

【資料2】に基づいて事務局より説明

(北野副委員長) 一点目はパース図について、史跡仙台城跡整備基本計画で修景・眺望の計画があり、大橋から本丸への眺望や、追廻から長沼および東丸(三の丸)土塁の斜面への眺望というのが重要な要素だったと思うが、資料2のパース図を見ると高木が多く並んでいる。どのような調整をしてこのような図になったのか。

二点目は仮称公園センターについて、この施設は仙台城のガイダンス施設としての機能を持たせると説明を受けた記憶がある。仙台城全体の案内等が展示の中でどのようにされるのかといった具体的な計画が重要になってくる。未定の部分もあると思うが、考えを聞きたい。

(公園課) 仙台城跡の眺望については、これから具体的に現場工事が始まっていく段階なので、文化財課と調整して行っていくところである。

ガイダンス施設の機能として、展示計画を具体化していく中で、改めて調整をしていきたいと考えている。また、仙台城跡で活動しているガイドボランティアなどから公園センターを拠点に活動したいとの話も受けているので、連携しながら考えていきたい。

(北野副委員長) くれぐれもお互い齟齬がないように調整して頂きたい。

(永井委員) 眺望について、大橋から本丸を見る眺望もあるが、もう一つは本丸から街中をみるという視点もある。資料の中に本丸から見た仮称公園センターのパース図があるが、屋根が近世の屋根の勾配でもなく、このような景観にしている例もあまりなく、何とかならないかと感じた。

(公園課) 資料で示したものは、基本設計時のパース図であって、今は実施設計のパースが別にある。屋根の構造を寄棟のような形に変更し、色合いも黒みがかった落ち着いた色にして、周辺環境と調和した形になっている。

(永井委員) それなら少しはよいと思う。このパースのとおりだと衝撃的だったが安心した。

- (公園課) そのようになるよう現場でも調整していきたい。
- (永井委員) 城から見た景観は非常に大事であり、特にこの辺は非常に重要なところなのでよろしくお願ひしたい。
- (深澤委員) 埋没堀跡地の駐車場について、復元に向けて仮設的な駐車場であるということで安心した。しかし、その駐車場について、エントランス広場を通り過ぎた奥に設定されているが、動線として不都合ではないか。仮に埋没堀の復元後に駐車場が一部残ったとしても不便である。現存する崖沿いとテニスコート北側の駐車場を活用しようと思っているのか。この位置に駐車場を整備する理由を聞きたい。
- (公園課) 公園センターに車で来訪する方のために、公園センターを中心として駐車場を配置した。テニスコート周辺の駐車場は、あくまでテニスコート利用者のための駐車場であり、公園センターおよび追廻地区の利用者向けの必要最低限の駐車場をつくる計画とした。
- (深澤委員) テニスコート周辺や竜の口溪谷側は環境が良いためホテルなどが生息しており、駐車場整備によって車両の往来が増加すると環境への影響が心配である。仮設的な駐車場整備は仕方ないが、よりエントランスおよび道路に近い位置の方がよいのではないか。また、環境への対応策等があれば良い。
- (公園課) 公園センターの建設場所は、片倉小十郎屋敷跡を踏まえたものとなっている。また、公園センターを中心に追廻の広場での活動を考えたときに、周辺の芝生広場や樹林地が必要となった。それらの要素を考慮した結果、駐車場が奥に入り込んだ場所となっている。堀の復元等を行う段階で、ご指摘の内容に配慮した計画も検討したい。
- (深澤委員) 中央広場は全面芝生になるのか。木陰等の日陰の休憩スペースは全く計画されていないのか。
- (公園課) 現状はそのような設計としているが、ご意見を聞きながら現場整備を進めたいと考えている。また、追廻地区で開催される都市緑化フェアの会場整備で仮設されたものについて、今後も使用できるものは撤去せず有効活用しながら整備を進める方針である。木陰等についても今後検討する。
- (深澤委員) 緑が多いところなので、緑は残してもらいたい。
- (佐々木委員) 広場について、杜の市民広場は品質を保つために高頻度に管理を行い、中央広場は総合的な管理になると思うが、管理の違いが現時点であれば教えて頂きたい。
また展示について、展示内容がいつ決まり、内容について委員会での説明があるか、あるいは展示内容に特化した会合があるのか等、今後のスケジュールについて当面の予定を教えてほしい。
- (公園課) まず杜の市民広場の管理について、勾当台の市民広場で開催されている各種イベントのようなイメージを持っている。杜の市民広場の芝生箇所については中央広場より多く手入れし、いつでも気持ちよく利用できる環境として維持したい。中央広場についてはイベントや日常利用を想定したエリアとしており、管理方法については今後検討していきたい。
展示の検討については、今年度中に内容を精査したうえで展示等の制作を行い、来年

度には公園センターの中に設置したい。適切な時期を見計らって当委員会または別の機会を設けてご意見をお聞きする。

(佐々木 委員) 展示については、地元の方を対象にするのか、観光客を対象にするかで考え方も変化する。ぜひご検討頂きたい。

(永井 委員) 駐車場は本丸跡からの景観に配慮し、目立たない色にする等の方法を検討してほしい。

(公園 課) 技術的に可能かも含めて検討していきたい。また環境に配慮するという観点については、どこまでご期待に添えるか現時点では答えられないが、念頭に入れて検討したい。

(籠橋 委員) 展示計画は多方面からの意見を取り入れつつ準備を進めると良い。公園センターの場所は片倉小十郎屋敷跡を踏まえているとのことだが、展示も歴史的背景を踏まえると良い。例えば七夕まつりや青葉まつりについての展示で、祭りの歴史についてもわかる展示にすると充実したものになるのではないかと。そういった考えはあるか。

(公園 課) 青葉まつりや七夕祭り以外にも四大祭りといわれる、光のページェントやジャズフェスティバルなど、仙台の代表的な祭りについても紹介したい。また現在までそのような祭りが受け継がれてきたという歴史についても発信していきたいと考えている。中身について十分検討していきたい。

(籠橋 委員) 歴史的なものを紹介できる施設なので、現在の祭りに関してだけでなく、例えば青葉まつりの時代性や由緒など、江戸時代からの祭りとの違い等についても展示してほしい。

(佐浦 委員) 運営について指定管理で行うのであれば、国際センターで学会があった際に公園センターや仙台市博物館に誘導する等、周辺施設が一体となって連携していく仕組みづくりを今後どのように行っていくのか考えを聞きたい。

(公園 課) どのような形で事業を依頼するのか内部で検討している段階であるが、事業者を公募する条件として周辺施設との連携は強く求めていきたいと考えている。また運営協議会のようなものを組織として立ち上げて、周辺施設と連携した事業運営ができるように検討している。

(渋谷 委員) この公園は未来の市民のための公園なので、環境に関連した展示の仕方を具体的に考えて欲しい。緑を多く残すという話がある中で、大橋から仙台城跡の景観がどのようになるのか知りたい。そして環境について単に配慮するだけではなく、今後の環境の取扱いについて未来を意識した公園になるとよい。

(公園 課) 景観については、文化財課と連携しながら進めていきたい。また公園整備に関して環境に配慮した視点では、例えばグリーンレストシティや、グリーンインフラというものを強調し、追廻地区における雨水流失抑制措置などの新技術を導入したハード整備について都市緑化フェアを契機として広く発信していきたい。

(藤澤委員長) 公園整備については当委員会で決定していくものではないが、仙台城の整備活用に非常に大きくかかわる場所での事業なので、本日の様々な意見を公園課でも趣旨を踏まえてより良い方向に進めて頂きたい。

(3)福島県沖地震による被災石垣他の復旧について

【資料 3】に基づいて事務局より説明

- (佐 浦 委 員) 近年地震が多発しているが、その度に仙台城跡の広大な範囲を巡回確認しているのか。
- (事 務 局) 地震の規模にもよるが、職員が非常参集するような大きな地震については現場の確認をしている。
- (深 澤 委 員) 被災箇所について大変な復旧作業になるかと思うが、具体的なスケジュールとして復旧工事が完了するおおよその時期について教えてほしい。
- (事 務 局) 被災直後、当初としては令和 3 年度中に全被災箇所を復旧したいと考えていた。しかし、国の予算の関係で2か年に分けて実施しなければならない可能性が指摘されており、現在調整中である。
- (深 澤 委 員) 令和 4 年度には復旧できるのか。
- (事 務 局) 遅くともそのようにしたいと考えている。
- (北野副委員長) 【チャット機能による書き込み】
- 公園は 360° バリアなし。どこからでも入れるのか。
- 駐車場(料金ゲートがあるようなので有料?)は暫定整備という事だが、フェア終了後の計画は?仙台城跡の巽門ルート目の前なのでこの辺りに駐車場があると便利。
- (事 務 局) 北野副委員長の書き込みについて回答させていただきたい。まず、公園センターが整備される追廻地区は史跡の隣接地としてふさわしい使い方をしてほしいと当初より要望している。今後の整備で何かあれば発言していくつもりである。
- 埋没堀は、仙台城跡 16・18 次調査で報告されているように、史跡地内から史跡地外に延びる遺構であるため、極めて重要であると考えている。また埋没堀調査 4 区で検出した石列は、築城期の大手に関わる遺構とも考えられるので、この石列の広がりについては当然発掘調査をしなければならないものと考えている。今後、駐車場の使用の年限については、担当部局で検討はされると思うが文化財課としては、国庫補助事業によって埋没堀の調査を実施する必要があると考えている。
- (佐藤技術補佐) 文化庁の保存活用班からの意見がありましたので補足させて頂く。東日本大震災と同じ箇所に被害が出ているので、これまでの修復方法でよいのかという点も踏まえて検討してほしいと話が調査官からあった。
- (北野副委員長) 東日本大震災後に修理したところが、地震によってどう変化するかがよく分かった。背面の栗石が振動で沈下し、それによって栗石と盛土の境に亀裂が入る。そういった箇所が複数箇所認められた。それ自体は修理後の変形として自然であり、そういった変化を経て徐々に安定していく。しかし道路が近接している中門石垣などについては、文化庁の指摘の通り、今後修復する際にはより危険性の少ないものを考えなければならないと思う。
- また、大手門脇櫓南側や中門北側石垣の東側などで地割れが何か所か見られた。従来から地盤が弱く崖になっている地点である。今後、石垣だけでなく、斜面地をどのようにして補修していくかということについても、仙台城跡の史跡管理全体にかかわるこ

となので長期的な視点で考える必要がある。

(事務局) 亀裂などについては、長期的に見ていく必要があると考えている。

(4) 仙台城跡における植生修景について

【史跡仙台城跡整備基本計画】に基づいて事務局より説明

(藤澤委員長) 今年度、植生調査については専門業者に委託するのか。

(事務局) 業者に委託する予定である。

(藤澤委員長) 城絵図によっては、針葉樹と広葉樹を描き分けているものもあるので活用して進めてほしい。

(5) その他

- ・事務局より今後の予定について説明
- ・宮城県文化財課 佐藤技術補佐から感想

3. 閉会